

IMAGINE
ROTARY

「イマジン ロータリー」

「人と人のつながりの中で
互いに学び成長していこう」

山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2800

RI会長：ジェニファーE.ジョーンズ 2800地区ガバナー：佐藤 孝子 ガバナー補佐：後藤 憲一

会長：熊谷 昌和 幹事：佐々木 啓充 会報・史料委員会 委員長：間木野 仁美

委員：金田 亮一 佐々木健一 武田 浩敬 伊藤 健二 渡邊 清則

第2377回例会

2023-5/9(火) 天気(晴)

□例会場：ホテルキャッスル

□点 鐘：PM 12:30 熊谷 昌和 会長

□司会進行 (SAA)：渡辺 崇 君

□ロータリーソング：「国歌」「四つのテスト」

会長挨拶



皆様こんにちは。ゴールデンウィークを挟んで約二週間ぶりの例会となります。皆様お変わりございませんか。さて、本日はお3人のご紹介から始めたいと思います。まず初めに今年4月からの米山奨学生「ショウ・エキ」さんです。ショウさんは中国中部江西省のご出身で現在山形大学地域教育文化学部の3年生です。現在小学校と中学校英語教員免許を取得するため日夜一生懸命勉強しているところです。ぜひ、ロータリアンとしての皆様の温かいご指導と交流をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

次に日本旅行東北の鈴木宏之さんに代わり、本日から会員となりました支店長の柿沼正人さんです。ロータリー活動は初めての方ですので、皆様よろしくお願いたします。

最後に本日のゲスト卓話の田中陽一郎教授をご紹介します。簡単に経歴をご紹介します。東北大学大学

院卒業後、長らく(株)東芝の開発部門で活躍していましたが、その後山形大工学部教授を経て、現在東北大学電気通信研究所の教授としてご活躍しています。今日は「地域産業振興とDXの推進」というテーマで卓話をしていただけたということで、大変楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、5月は私の町内では里の宮湯殿山神社の例大祭が18日に約四年ぶりに通常通り行われます。コロナの時代特に体を密着して声を出し合う神輿徒業は一切できませんでした。しかし、やっと今年は令和元年の時と同じようにグランドホテルまで、神輿を出すこととなりました。例会でのパネルもなくなり少しずつコロナ以前の姿に戻りつつあると感じています。経済活動も活発となり、皆さんの仕事も出張や展示会など今まで以上に忙しくなっていると思います。とは言え、コロナがなくなったわけではありません。変におびえることなく、マスクをつけなくなったとしても、感染対策の中で「手洗い」と「うがい」だけは、しっかりと続けていきたいと思っています。以上で会長あいさつ終わります。

幹事報告

佐々木啓充 幹事

本日は3点ございます。

1. 来週5月16日の職場訪問例会は大風印刷さんになります。10時15分に現地集合となっております。お昼はパレスグランデール北側の「山形チャイニーズ香琳」に各自ご移動いただきまして昼食となります。たくさんの方のご参加をお待ちしております。
2. 5月のロータリーレートは1ドル136円です。
3. 本日の例会終了後に理事会を開催いたしますので理事の方はお残り下さい。

委員会報告

親睦活動委員会 鉄 浩二 君

5月の誕生祝は金森正耕君、武田浩敬君、鈴木利明君の3名の方です。おめでとうございます。



新入会員紹介
㈱日本旅行東北 山形支店
支店長 柿沼 正人君



米山功労者表彰
浅野 裕幸君



米山奨学生ショウ・エキさん
に奨学金の贈呈。

ニコニコBOX 熊谷 一幸 君

浅野 裕幸君 米山功労者表彰ありがとうございます。市議会議員選挙で弟が当選できました。ありがとうございます。

熊谷 昌和君 田中陽一郎さん本日はお忙しい中ありがとうございます。

渡邊 清則君 妻の誕生祝いありがとうございます。長男がNDソフトウェア陸上部の監督に就任しました。

本間 安信君 NHKの取材を受けテレビに出演しました。来期は例年以上密に親睦を図っていきます。

鈴木 宏之君 4年間ありがとうございます。柿沼さんをよろしくお願いいたします。

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東



地域産業振興とDX推進

東北大学電気通信研究所

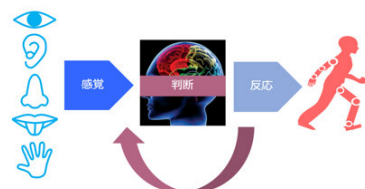
教授 博士(工学) 田中 陽一郎 氏

地域企業活動におけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)の意義を考える デジタル化のインパクト

日常的に使っているスマートフォン。多くの人とメールや会話をしたり、写真や動画を撮って SNS でシェアしたり、アプリを使って注文や支払いをしたりすることが可能となり、生活に欠かせない重要なデバイスになっている。それはインターネット経由で巨大データセンターにアクセスしデータをやり取りすることで、さまざまなサービスの価値を私たちに提供している。ネットワークを伝わるデジタルデータの動きは、私たち社会の神経系と言える。

学校の講義のように従来からアナログで一過性だった教育活動も、デジタルデータ化することでコンテンツを記録・蓄積し、共有し、将来にわたって繰返しの学びに有効に活用できる資産に変わっていく。コロナ禍によるオンライン講義の経験から、学び素材の資産化の意義と効果を実感することができる。

IoTは、ひとの神経と運動



データを介して
ひとりの優れた職人のように
プロセス全体を調和し動かす仕組み

経営の質を高める IoT

IoT (Internet of Things) は、デジタルデータの伝達によって、まるでひとりの優れた職人のように事業活動や生産活動のプロセス全体を調和させるシステムである。古来からの日本の言い方をすれば、「万物に魂が宿る」を情報通信技術 (ICT) により効果的に実現するものである。経営者が事業の動きを常に体感できることが大きなメリットである。

例えば、生産工程における品質問題発生に迅速に対処しなければならない場合を考えると、膨大な生産パラメータの組み合わせの中から品質問題の真因を手作業で探し出すのは容易ではない。IoTの活用によって工程全体で起きていることを常にモニタ・記録・学習することで、「今起きていることに今対応する」状態に近づけることが可能になる。

山形県 DX 推進ラボ

山形県では 2017 年より IoT 推進ラボの活動を通じて、IoT やビッグデータ、AI を活用した生産性向上、ビジネス創出、高付加価値の創出の支援事業を行ってきた。今年度から、スコープを拡大した山形県 DX 推進ラボにアップグレードした。県内企業の競争優位性の確立と県内産業の活性化を図ることを目的に、DX の普及啓発 (面的支援) と DX 現状分析から実行計画の策定・実行支援までの伴走支援を行う。

スマート地域づくり

県を越える広域スケールで DX 化を進め、ひとや交通の流れの把握、ものやインフラの管理、さらに物流の見える化によって、環境負荷の低い暮らしやすい地域づくりを目指す、「The Greenest Area」構想を推進している。これは、最も暮らしやすくなる地域を作ることを意味し、将来に向けた地域ビジョンでもある。

まとめ

- ・データは市民のもの、デジタル化 (DX) を進めみんなの幸せのために使おう
- ・DX によって、データは蓄積・共有・活用できる「未来の資産」になる
- ・人と人の交流に加え、今後は「ICT コミュニケーションの濃さ」が鍵
- ・デジタルを使う側のリテラシー醸成が課題

5月度理事会報告 (協議事項)

- ◆定款細則の変更委員会より次年度の正会員の年会費を245,000円とする事が提案され理事会で承認されました。6月6日の例会時にクラブ総会を開催し決議いたします。
- ◆最終例会の会員会費を5,000円とする事が理事会にて承認されました。

本日のお料理

冷製豚肉とボイル野菜の胡麻ソース、
烏賊とニンニクの炒め物、麻婆春雨、
白飯、漬物、スープ



○本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	51名		27名	
前回修正				
他クラブで メイクアップ された会員				

※本日の結果は2週間後に報告
※修正は2週間前の結果報告
出席会員数÷算出会員数=出席率
算出会員数とは? 出席義務会員+メイク免除会員の出席者
出席会員数とは? 出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員